

令和3年度 公共事業再評価調書

担当課名 治山林道課

番号																													
事業名	道整備交付金事業 林道桂山線			事業主体	静岡市																								
箇所名	静岡市葵区桂山																												
事業採択年度	平成8年度	計画期間	平成8年度 ~ 令和7年度																										
用地着手年度	平成8年度	工事着手年度	平成8年度																										
再評価理由※	前回の再々評価（平成28年度）から5年が経過し、継続中の事業であるため																												
全体事業費	百万円	投資状況 (百万円)	~R2年度	R3年度	R4年度見込	計																							
	923		843	0	20	863																							
事業概要	<p>(1) 事業目的 本林道が位置する玉川地区は、豊富な森林資源を有しており、林業振興に積極的に取り組んでいる。 当事業実施以前は、人力による森林施業が主体であり、搬出コストと木材価格との採算が合わないことから適切な施業が遅れ、森林が有する多面的機能の低下が懸念されていた。このため、当該林道を整備し、林道を核とした林内作業路網、機械化された施業システムを構築し、効率的且つ安定した低コスト林業に必要な基盤づくりを推進する。</p> <p>(2) 事業内容 森林管理道 2級林道 計画延長：5,207m・道路幅員：4.0m・利用区域面積238ha</p>																												
【視点1】	<p>(1) 事業を巡る社会情勢等の変化 林野庁作成の森林・林業再生プランでは、木材自給率50%(R2年度)、また、静岡県は県産木材生産量50万m³(毎年)を目標に掲げ、豊富な森林資源を低コストかつ安定的に利用できる体制構築が求められている。このような中、木材価格が低迷していることから、森林管理コストの更なる効率化と軽減のため、本路線整備への期待が高まっている。</p> <p>(2) 事業の投資効果（費用対効果分析結果に基づくもの及びその他アピールすべき効果） ・ 費用対効果分析結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>前回平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用対効果指数：B/C</td> <td>1.34</td> <td>1.29</td> </tr> <tr> <td>総便益額：B</td> <td>1,938百万円</td> <td>1,558百万円</td> </tr> <tr> <td>総事業費：C</td> <td>1,442百万円</td> <td>1,207百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 事業の進捗状況 (R3年度末)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度末見込み</th> <th>前回平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進捗率</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費(百万円)</td> <td>843/923 = 91%</td> <td>721/854 = 84%</td> </tr> <tr> <td>事業量(m)</td> <td>4,407/5,207 = 85%</td> <td>3,622/5,207 = 70%</td> </tr> </tbody> </table>						令和3年度	前回平成28年度	費用対効果指数：B/C	1.34	1.29	総便益額：B	1,938百万円	1,558百万円	総事業費：C	1,442百万円	1,207百万円		令和3年度末見込み	前回平成28年度	進捗率			事業費(百万円)	843/923 = 91%	721/854 = 84%	事業量(m)	4,407/5,207 = 85%	3,622/5,207 = 70%
	令和3年度	前回平成28年度																											
費用対効果指数：B/C	1.34	1.29																											
総便益額：B	1,938百万円	1,558百万円																											
総事業費：C	1,442百万円	1,207百万円																											
	令和3年度末見込み	前回平成28年度																											
進捗率																													
事業費(百万円)	843/923 = 91%	721/854 = 84%																											
事業量(m)	4,407/5,207 = 85%	3,622/5,207 = 70%																											
事業の必要性	評価	継続が妥当・視点3による見直し後継続が妥当・継続は妥当ではない																											
【視点2】 今後の事業の進捗の見込み	<p>・ 地域関係者の協力のもと、順調に工事が実施されており、事業の進捗に問題は無い。</p>																												
	評価	継続が妥当・視点3による見直し後継続が妥当・継続は妥当ではない																											
【視点3】 新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性	0																												
対応方針案	<p>(1) 対応方針案 本事業を (継続・中止) する。</p> <p>(2) 理由 本林道の整備は、持続的な林業経営に向けた効率的且つ安定的な低コスト林業の確立に不可欠であり、森林資源を活用した産業振興による地域活性化に対する地元住民の期待が高い。</p>																												

1 事業の概要 (2) 事業の内容・林道の位置

